

シマバライチゴなどのキイチゴという植物

観察会&講演会のご案内

あの苦しかった噴火災害から10年余り、復興も進み山にも緑が復活してまいりました。

なかでも全国的に珍しい「シマバライチゴ」(キイチゴ属)が、あの猛烈な火砕流の下、絶滅の心配をよそに奇跡的に生き残り、火山灰の下からたくましく芽を出し赤い実をならせてくれました。その生命力に私たちは大いに勇気を湧かせたものです。

そこで、その生態を日本や世界のキイチゴ属の仲間と合わせてお話を伺うことにいたしました。

講師の鳴橋先生は京都大学大学院からキイチゴの研究に取り組み、島原にも何度か来られ調査もされています。

私たちのふるさと「島原」の名をもち、一緒に災害を生き抜いてきたシマバライチゴとその仲間をこの機会に学んでみませんか。

なお、講演会の前に観察会を行います。先生と一緒に垂木台地を歩いてお話を伺います。秋の山を楽しみながらのご参加、いかがでしょうか。

▼観察会▼

日時 平成18年11月11日(土) 午前9時30分~12時

場所 平成新山ネイチャーセンター キイチゴ観察園(島原市南千本木町☎63-6752)

鳴橋先生と一緒にシマバライチゴなど観察、散策

▼講演会▼

日時 同日午後2時~4時

場所 雲仙岳災害記念館(島原市平成町☎65-5555)

演題 シマバライチゴなどのキイチゴという植物

講師 なるはし **鳴橋** なおひろ **直弘** 先生

富山大学大学院理工学部(理学)教授

主催 島原市民文化講座・島原市教育委員会

共催 垂木台地解説者協議会・シマバライチゴを守る会

